

いのち 暮らし
生命と生活
守ります！



公明党 港区議会議員

丸山たかのり NEWS Vol. 16

2019.10



フードドライブ常設窓口が拡大！ 未利用食品回収し食品ロス削減を推進！

フードドライブとは、家庭で余っている未利用食品を集め、フードバンク等を介して、食品を必要とする人や施設などに配布すること。

港区では、従来はイベント等での臨時受付のみでしたが、公明党の推進で、本年4月～みなとリサイクル清掃事務所で常設窓口での受付を開始。

しかし、場所が不便であったため、本年6月定例会公明党代表質問で拡大を訴え、10月1日より各地区総合支所等7カ所まで常設窓口を拡大！

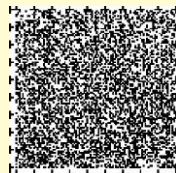
これにより、家庭における食品ロス削減の推進が一層図られます。

障害者の多様な意思疎通手段の利用促進！

「港区手話言語の理解の促進及び障害者の多様な意思疎通手段の利用の促進に関する条例」が今月成立。

公明党がこれまで求めてきた、障がい者への災害時の情報発信の推進や視覚障害者用「音声コード」の郵便物への表示、情報保障ガイドライン作成等が実現へ！

「音声コード」の中に838文字が格納！



振込め詐欺撃退！「自動通話録音機」無料

自宅の電話機に繋げるだけで、かかってきた電話に自動で警告し、録音する「自動通話録音機」を港区は無料で貸与しています。

設置により振り込め詐欺など特殊詐欺の撃退に大きな効果が期待できることから、港区議会公明党として平成27年6月定例会で区独自に取り組む必要性を訴え、同年7月～開始に！

※問い合わせは、港区生活安全推進担当 ☎ 03(3578)2199



子どもへのインフルエンザワクチン 助成券の配布が開始に!!(2019.11～)

インフルエンザは、一昨年昨年と、港区内でも2年連続の警報レベルの流行となっており、今年は東京都で昨年を上回る早さで流行の兆候があり、既に学級閉鎖も9月中旬で17件確認されていました。

そこで、港区は、区内の6か月児～中学生を対象に、1人1回につき3000円、小学生以下は2回までのワクチンの助成を開始することになりました。

11月1日の開始までに助成券が対象世帯へ配布予定ですが、10月から助成券受け取り前迄に接種した方も償還払いで返金が受けとれます。

私は、本年2月の区議会定例会の公明党代表質問のなかで、助成を要望していたこともあり、早期に実現できて本当によかったです。

早期流行の原因の一つとされる訪日外国人の増加は、東京2020五輪をピークに大会終了後も続く見込みで、それを見据えワクチンによる感染症予防の戦略的取組として助成の必要性を訴えていたのは公明党だけです。

子どものインフルエンザ
予防接種費用

**一部助成制度
を開始します**

生後6か月から中学3年生までのお子様
インフルエンザの任意予防接種を受けた方に費用の一部助成を行います

助成対象	港区民で、生後6か月～中学3年生までのお子様 (平成18年4月2日～令和元年7月1日生まれ) ※ 接種当日に生後6か月を超えない場合は接種を受けることができません ※ 中学生への助成は1回のみです
助成金額	助成券1枚につき3,000円
助成期間	令和元年11月1日(金)～令和2年1月31日(金) ※ 助成券が有効な限り(事務上の請求で廃棄の口座に返金される) 制度の詳細は、区ホームページをご覧ください ※ 助成券が有効な限り(事務上の請求)に受けつけた予防接種については、返金しない(申請書に返金の上乗せ3,000円)をご利用いただける場合があります

季節性インフルエンザ予防接種は任意の予防接種です
予防接種の必要性は保護者の方が判断ください

大平台みなと荘 料金見直し 平日1万円以下復活、実現！

港区民保養施設「大平台みなと荘」は、平成29年度より料金をコストから算出し値上げしたところ、前年度96.3%あった部屋の利用率が、30年度には83.7%まで低下し、急きょ見直すことに。

周辺の競合宿泊施設と比較検討し、休前日（土曜日と祝前日）は値上げになりますが、平日の基準料金が1万円を切る価格に。

平成28年9月の見直しを検討した委員会にて、稼働率が下がれば1万円を切る価格に戻すよう求めていたので、よかったです！



	改正後(令和2年4月~)				現行	
	平日		休前日		大人	子供
	大人	子供	大人	子供		
1人	11,500		14,500		10,500	
2人						
3人	9,000	4,500	* 12,000	6,000	10,000	5,000
4人						
5人	7,000		10,000		9,500	

※ 大人：中学生以上、子供：4歳以上小学生まで、[*]は基準料金

※65歳以上の減無料金は3000円→3200円に(休前日を除く)

第3回 定例会

丸山たかのり 港区議会質問より

質問

増え続ける外国人の親をもつ子どもたちの教育環境の整備のために、現場の教職員へ、分かりやすい言葉とひらがなを多用する「やさしい日本語」の習得を、出前講座などを活用して促進すべき。

答弁

外部講師による校内研修を開催するなど、教職員が負担なく「やさしい日本語」を習得できるよう取り組む。



質問

地域活性化と若者流出防止を図るためにも、地域団体等と連携した婚活イベント「街コン」を開催すべき。

答弁

カップル成立後に、地域でデートをしたり、将来住んだりといった、後のことにつながる効果も高いので、実施に向けて検討する。



質問

認知症の人が安心して暮らせる共生社会の実現のために、ゴミ出しや買い物、災害時の安否確認など、認知症サポーターが「参加型」で力を発揮できる体制整備を。

答弁

認知症の人やその家族の支援ニーズとサポーターをつなげる仕組みなど、サポーターの更なる活躍の場の充実に努める。



質問

港区自転車保険「港区民交通傷害保険」に、示談交渉サービスを付帯すべき。

答弁

現在金融庁に同サービスの付帯について申請中で、可能となった場合には速やかに区民に周知する。



防災は『自助』が基本です！

相次ぐ超大型台風の来襲により、自然の驚異を改めて感じた方も多かったのでは。災害への備えは自分で備える「自助」が基本ですので、普段から備えをどうか万全に。